

## 鉢物向け八重系ブバルディアの選抜と周年栽培技術の開発

### 【研究概要】

交配育種により新しいブバルディア系統を多く作出し、切花用として種苗登録をしており、その中には鉢物として有望な八重系統も含まれる。八重形質を有するペチュニアやベゴニアなどの花きは近年高単価で取引されていることから、育種系統から有望な品種を選抜できれば、東京オリジナルの鉢花としてブランド化が図れる。そこで本課題では、鉢物として有望な八重形質を有する系統を選抜するとともに、周年出荷を可能とする栽培技術を開発してブランド化を図ることを目的として試験を実施した。その中で今年度は下記の2つの成果が得られた。

- (1) 八重系ブバルディア 29 系統を供試し、4月挿しの増殖効率と挿し木後の生育特性を調査した。全体的に発根率や増殖効率が低かったため、挿し木方法などをさらに改善する必要がある。挿し木部位は、節挿しよりも天芽挿しのほうが高い増殖効率を得られた。
- (2) 7月挿しでは、挿し木の期間を12週間とすると、高い発根率が得られた。また、根長の長さや発根本数の多さは活着率に関与しておらず、挿し木後の養生方法を改善することで増殖効率の向上が期待できた。